

# 北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進 優良事例表彰団体の取組

## ● GAP部門

### 新潟県農業大学校

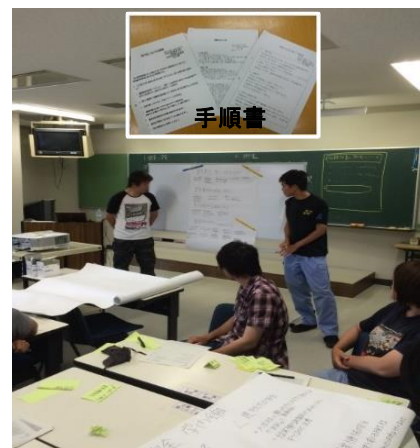
- ・所在地:新潟県新潟市
- ・ほ場面積:34ha
- ・品目(認証取得):米、いちご

#### ○ 取組

- 平成28年に全国の農業大学校で初となる GLOBALG.A.P.の認証を米で取得。さらに30年にはいちごも取得。
- GAP導入にあたり、正規の学習として2年間でGAPの知識とGAPを用いた管理を実践できるカリキュラムを整備。
- 生産工程に係るリスクの評価や手順書・マニュアルの作成により、登録切れで廃棄する農薬や燃料使用量の減少、ヒヤリハット事例の大幅な減少。さらには、管理の効率化を図るため、経営管理ツールの導入やドローンによる空撮を取り入れ、記帳等の労力や生育調査時間を大幅に削減。また、何よりも学生による改善提案の増加など学習効果を発揮。
- 認証取得を契機として、全国の農業大学校に先駆け香港・シンガポールへ米を輸出し、学生のグローバルな視野や経営感覚の醸成に寄与。
- 教育関係者のみならず、農業団体等も含め、県内外からの視察や相談を積極的に受け入れ、農業者向けのGAP研修会を開催するなど、GAPの普及・推進の拠点として貢献。



講義(GAP導入演習)の様子



グループで作成した各種手順書の発表風景

#### ○ 今後の取組

- 今後とも、GAPを実践できる人材育成に取り組み、地域での認証GAP等の普及に協力し、地域の経営体が多く品目でGAPの研修ができる「GAPの普及啓発の拠点」としての機能を果たしていく考え。



大学校主催のGAP研修会で手順書等を説明